

Ⅱ 相談状況

令和6年度の相談受付件数は8,802件(前年度8,313件)で前年度比105.9%である。

相談種別で最も多いのは障害相談4,090件で、そのうち知的障害相談が4,027件(障害相談全体の98.46%)である。

次いで養護相談が3,676件、うち児童虐待相談が2,988件(養護相談全体の81.28%)となっている。

経路別受付の状況は市町村(福祉事務所も含む)、家族・親戚からのものが大多数である。

(図2参照)

また、処理別状況は助言指導が5,734件(面接指導件数の92.39%)と圧倒的に多く、

児童施設入所・通所は75件(総処理件数の0.84%)となっている。(図3参照)

図1 相談別受付件数

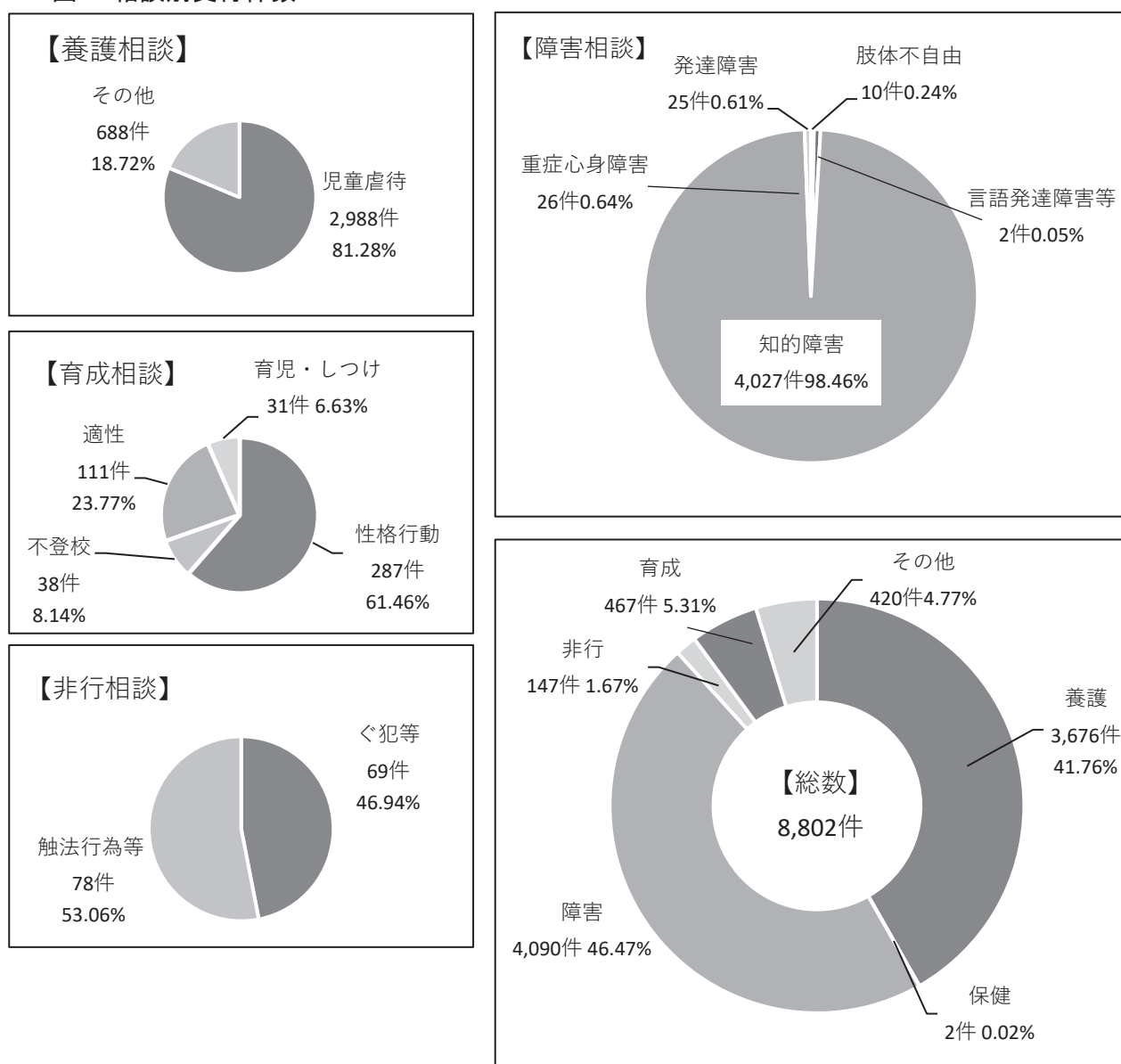


表1 相談種類別受付状況

		中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
養護	児童虐待	1,454	35.59	469	32.17	659	38.07	298	28.46	108	22.45	2,988	33.95
	その他	356	8.72	147	10.08	105	6.06	37	3.53	43	8.94	688	7.82
保健相談		0	0.00	0	0.00	2	0.12	0	0.00	0	0.00	2	0.02
障害	肢体不自由	5	0.12	3	0.21	2	0.12	0	0.00	0	0.00	10	0.12
	視聴覚障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	言語発達障害等	1	0.02	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.02
	重症心身障害	20	0.49	1	0.07	5	0.29	0	0.00	0	0.00	26	0.30
	知的障害	1,795	43.94	643	44.10	778	44.95	543	51.86	268	55.72	4,027	45.75
	発達障害	2	0.05	1	0.07	1	0.06	21	2.01	0	0.00	25	0.28
非行	ぐ犯等	26	0.64	12	0.82	16	0.92	10	0.96	5	1.04	69	0.78
	触法行為等	39	0.95	12	0.82	18	1.04	8	0.76	1	0.21	78	0.89
育成	性格行動	122	2.99	54	3.70	40	2.31	42	4.01	29	6.03	287	3.26
	不登校	6	0.15	12	0.82	2	0.12	14	1.34	4	0.83	38	0.43
	適性	53	1.30	32	2.19	26	1.50	0	0.00	0	0.00	111	1.26
	育児・しつけ	2	0.05	11	0.76	7	0.40	10	0.96	1	0.21	31	0.35
その他		204	4.99	60	4.12	70	4.04	64	6.11	22	4.57	420	4.77
計		4,085	100.0	1,458	100.0	1,731	100.0	1,047	100.0	481	100.0	8,802	100.0
前年度計		3,729		1,451		1,540		1,146		447		8,313	
前年度比(%)		109.5		100.5		112.4		91.4		107.6		105.9	

図2 経路別受付件数

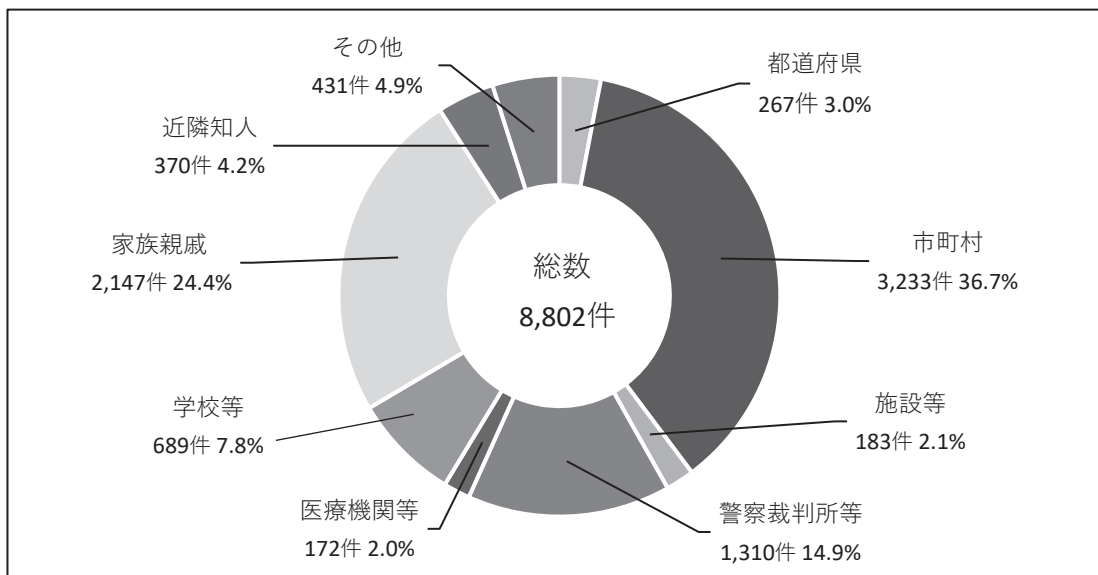
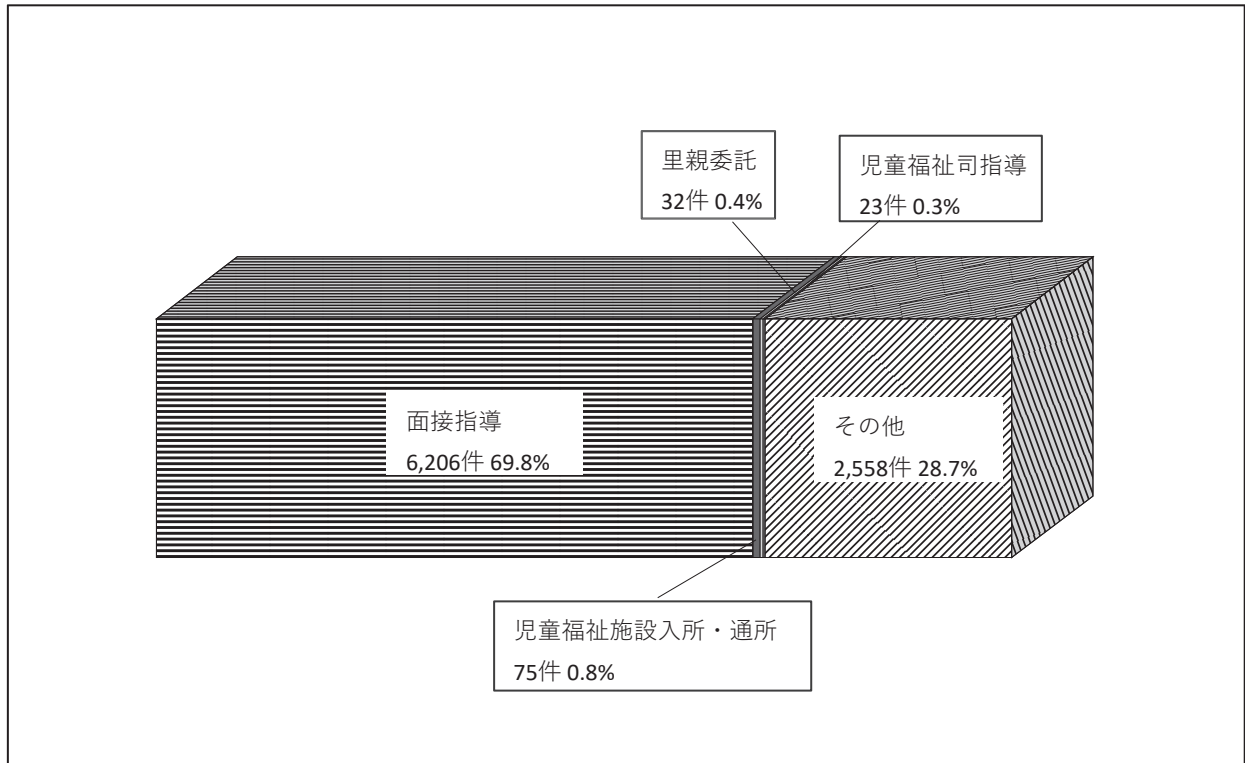


図3 処理別件数 【処理件数8,894件の内訳】



【面接指導6,206件の内訳】

助言指導	5,734	92.39%
継続指導	371	5.98%
他機関あっせん	101	1.63%

【その他2,558件の内訳】

児童委員指導	0	0%
児童家庭支援センター委託	27	1.06%
市町村送致	41	1.60%
福祉事務所送致	49	1.92%
訓戒・誓約	39	1.52%
指定医療機関委託	0	0%
家庭裁判所送致	5	0.20%
障害児施設への利用契約	30	1.17%
その他	2,367	92.53%

図4 年度別・相談種類別受付件数の推移（保健相談は『その他』に含む）

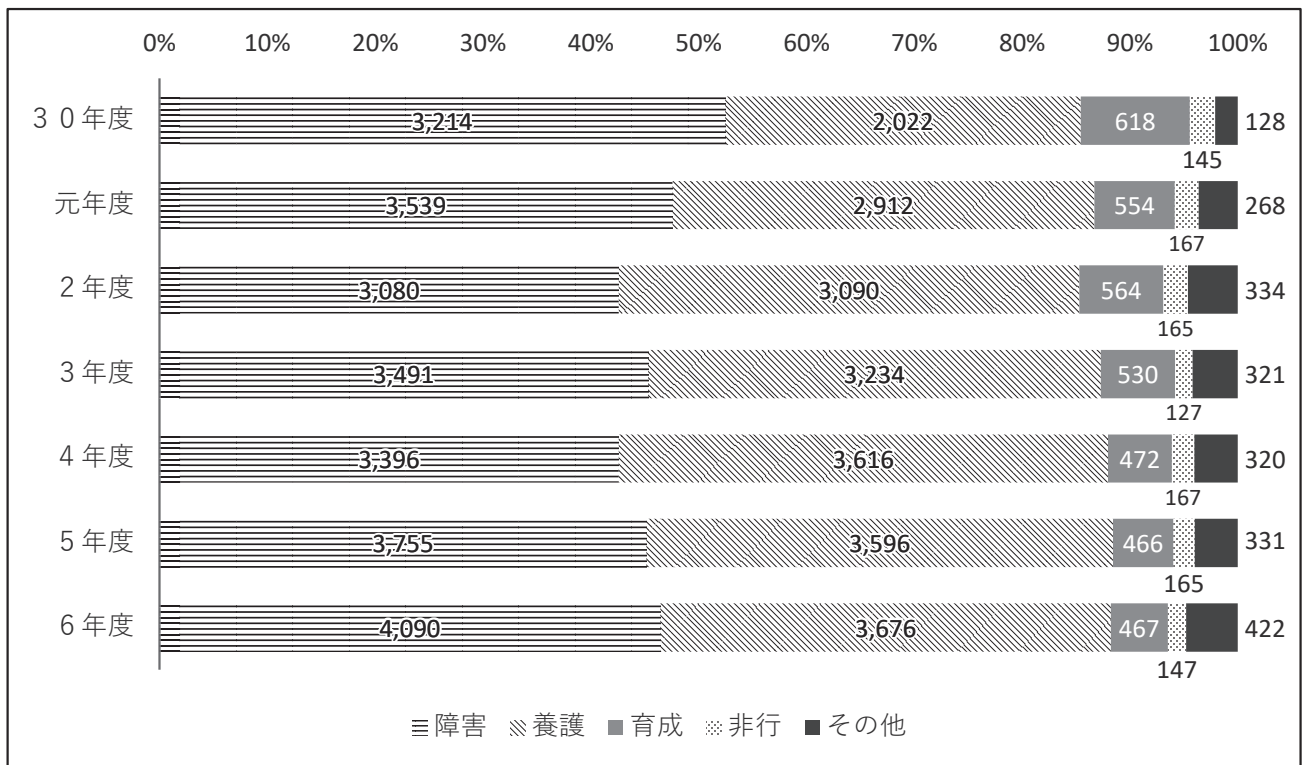
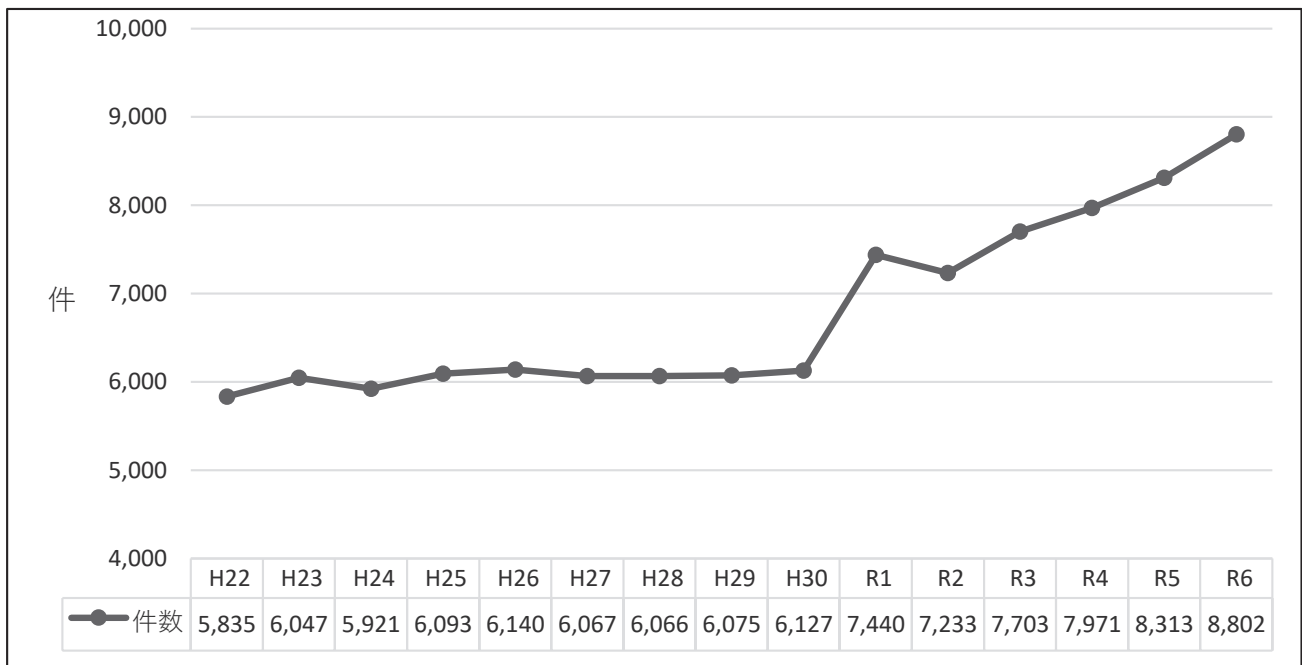


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況(虐待)

令和6年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の福祉行政報告例(第49表)に記載。
その養護相談(理由別)のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表2 虐待相談の経路

対応件数

種別 センター別	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
中央	30	253	20	499	69	301	34	57	15	128	34	58	1,498
西濃	12	53	7	152	13	95	12	28	9	32	11	23	447
中濃	17	165	10	150	7	137	19	31	14	33	23	25	631
東濃	7	34	6	128	13	40	6	19	11	23	9	3	299
飛騨	2	16	0	42	1	12	4	12	3	6	4	5	107
計	68	521	43	971	103	585	75	147	52	222	81	114	2,982

表3 虐待相談の主な虐待者

対応件数

種別 センター別	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	計
中央	668	100	633	15	82	1,498
西濃	230	29	165	7	16	447
中濃	226	35	318	19	33	631
東濃	120	25	145	6	3	299
飛騨	50	14	34	0	9	107
計	1,294	203	1,295	47	143	2,982

図6 被虐待児の年齢・相談種別（年齢区分下の数字は各区分の総件数）

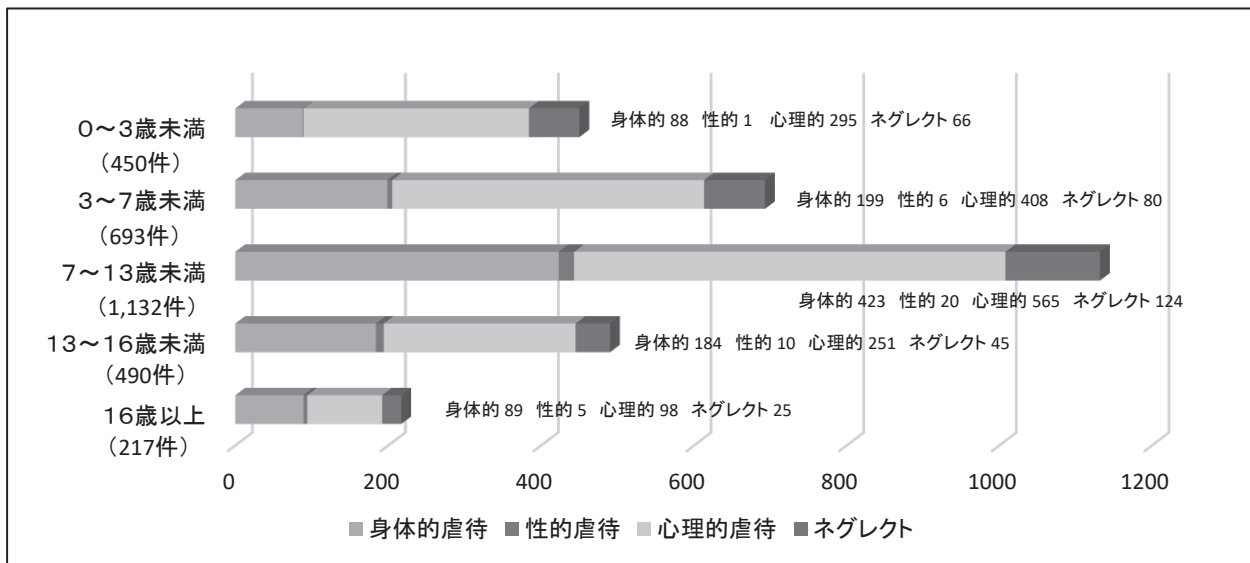


表4 虐待相談の対応

施設入所	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他	里親委託	面接指導 (助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
40	30	6	1	2	1	13	2,837	12	80	2,982

表5 虐待相談の対応件数の推移

年度		R1	R2	R3	R4	R5	R6
全 国		193,780	205,044	207,660	214,843	225,509	集計中
岐 阜 県		2,280	2,268	2,390	2,684	2,725	2,982
内 訳	中 央	1022	1,051	1,046	1,223	1,349	1,498
	西 濃	387	347	400	467	491	447
	中 濃	475	481	537	588	494	631
	東 濃	286	282	285	286	295	299
	飛 騨	110	107	122	120	96	107

図7 虐待相談の対応件数の推移（岐阜県）

